

縣民大衆審判の日

週刊 磐城之責業

発行日 曜 日 週 毎

印刷所 大和印刷局

定価 五分

代金 五分

印刷所 大和印刷局

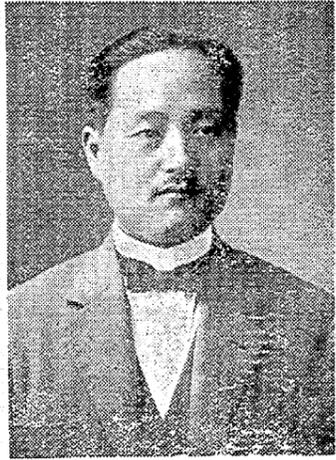
本紙は特に數千部を増刷し有権者各位に進呈す御高覽を切望す

天に正義あり、地に普選の民あり、今や第二次の地方政戦!! 與黨勝つか野黨勝つか正に後三日にして國民大衆の公明なる審判は下るのである、殊に福島縣民諸君は我地方議會に對し策謀と虚偽の貯水池であるの名稱を與へられ居る縣會は其因、何に依るものか? 此時に際し我等は熱心と力と尠くも政治的良心ある新人、奮闘家にして常に縣民の福利増進を念慮する熱烈なる人士を送れとは一般大衆に呼びかけた心の聲であり衷心よりの希望であらう。空理空論、所謂口の人にして實行の伴はざる者は絶対排斥し眞誠努力の士に依つて縣議の椅子を獲得せしめよ、我縣政を議する神聖なる縣會に對してメタン瓦斯の發生する如き暗い古沼とは我等縣民たる者豈憤慨せざらんやである、よろしく焔の燃るが如き議員に依つて刷新すべきである。

愈々來る二十五日!

讀者並に有権者諸君特に石城郡三萬八千の有権者諸君、此際政治的良心と堅忍不拔なる鐵の如き意思を持つ人士を送るは石城郡の誇りである、我等は堅實緊張せる民政黨、積極進取に躍進する政友會、新興勢力を背景とする無産黨と其黨派所屬を識別するよりは我等縣民の知音に酬ひるの誠實なる持主を物色すべきである、縣政の消長は、興廢共に此一戦に懸けられてゐる、而も其の勝敗は一に清き一票に保たれて居る嗚呼此の一票の自由な動きを妨げるあらゆる手段方法は徹底的に排除すべく有権者は須らく候補者の縣政に對する所見に依り人格に依り手腕力量に依り神聖なる選舉權を堂々と行使すべきが正に當然の行爲であり且つ帝國臣民としての重要な義務である。

誰てし果はくだたいを冠榮



我等の代表 田子氏の 経歴を語り 江湖の同情を 熱望す

常道を踏んだ純理論は勝つ敵者並に全有権者に語らん
た田子健吉氏は立憲政友会とするもので其全幅を傳へ
公認候補として石城の政敵の引継しがあつてはならぬ
に血みさろの奮戦をつづけの引継しがあつてはならぬ
つゝあるのである、居を縣
廳の所在地福島市に置くが田子健吉氏は石城郡民
け今後に於ける便益は一層の代表として縣議の椅子を
の好都合を招致するものと與ふるに儘に最適任の一人
親する時、筆者は二十年のものと、然も田子君は決し
親友なるが故、所謂提灯持て職業政治家ではない、政
をするものではない新聞記者を喰ひ物にする様な人物
者としての天職から絶対的ではない、君は少壯事業家
公明なる立場を以て卒直にであり、企業的天才の所有
容赦なく彼の人格風ぼうを者である、然も一度企業家

業等の企業をなしその専務で
社長として手腕を振つた、
株式会社の資本金は合して
四百萬圓に及んだといふの
を見ては彼は如何に英才で
あるか窺はれよう。
世界大戦の大反動を全國
に波及させた大正九年
若き社長の統裁した君の
事業も世間並の大洗禮を受
け禪然として大悟した彼は
突如福島市に現れ福島民友
新聞の一記者として入社し
つて直ちに縣會開會中であ
つて直ちに縣會雜報記者を
腕を發揮した君の活躍は
いて解明したる筆者は縣下
の諸物となつた程であつた
あ、昨日は四百萬圓の會社
の如き筆を握つて天下國家
を論ずるあたり其の淡々水
の如き彼の行儀性格はこの
点に如くしてゐる、努力
奮闘、勉學、入社一年にし
て、即ち府縣の人口七十
十萬未滿のものには三十人
七十五萬以上百萬未滿のも
のには五萬人は一人づつを
増し百萬以上では七萬人
を加へる毎に一人を増す
ののです、我福島縣民は約
百六十萬だから今回は一
名を郡山市で増員して四
十三名が定員となつたの
であります、又この選挙
は衆議院の選挙とちがつ
てごからでも
立候補するといふ譯
にはいかならないのです、
是非ともその公民であ
る必要がありま、公民と
は帝國國民であること
ある、しかしその反面に彼
時により場合に於て熱狂
的大雄辯となり或は冷静水
の如き概を示すは即ち辯
人となり如實に物語るも
のである、今後に於ける君
の歩みこそ興味百パーセン
トをそそるではないか、熱
血は遂に公認された快男兒
田子健吉氏を講場へ送る事
は極めて有意義な事と信じ
筆者は新人田子君の當選を
全有権者に訴へ同情を衷心
より待望する次第でありま
すが彼は今回筆者にこんな
ことを物語つてゐる。
私の身體には赤き血と熱
があります、涙なくして
語り能はぬ各位の御後援
御努力によつて幸ひ當選
の榮を得るならば、この
血と熱を以て縣民共同
の利益のためにあらゆる
問題に邁進する決心であ
る云々

縣會議員 の員議縣 に際し舉選總

主婦もまたこそつて 選挙を監視せよ

他人事なご、無關心は不可 其の利害は直ちに自分の上へ来る

縣會議員の選挙は僅かに
三日の後に迫つて來まし
た、複雑な政情を前にし
て果してどの様な成果を
收めるでせうか、これは
可成り興味ある
問題でなければなら
ません、ところが選挙の
家庭の主婦は選挙に就て

余り無智識だつた様です
が然しこれは大變な誤り
です、自分たちの家庭入
の一人が選挙するその被
選挙人の如何は取りも直
さず自分たちに直接間接
に必ずしうの形響を
ふりかけて來るもので、
それに對して無關心とい
ふ事は自己の利害關係に
無關心といふ事になるも
のです
府縣といふのはその
區域内の市町村を包んだ
法人であります、そして
府縣を統轄して府縣の代
表をするものが知事な
です、しかし縣が警察
定員は法律で定められて
あります、即ち府縣の人口七
十萬未滿のものには三十人
七十五萬以上百萬未滿のも
のには五萬人は一人づつを
増し百萬以上では七萬人
を加へる毎に一人を増す
ののです、我福島縣民は約
百六十萬だから今回は一
名を郡山市で増員して四
十三名が定員となつたの
であります、又この選挙
は衆議院の選挙とちがつ
てごからでも
立候補するといふ譯
にはいかならないのです、
是非ともその公民であ
る必要がありま、公民と
は帝國國民であること
ある、しかしその反面に彼
時により場合に於て熱狂
的大雄辯となり或は冷静水
の如き概を示すは即ち辯
人となり如實に物語るも
のである、今後に於ける君
の歩みこそ興味百パーセン
トをそそるではないか、熱
血は遂に公認された快男兒
田子健吉氏を講場へ送る事
は極めて有意義な事と信じ
筆者は新人田子君の當選を
全有権者に訴へ同情を衷心
より待望する次第でありま
すが彼は今回筆者にこんな
ことを物語つてゐる。
私の身體には赤き血と熱
があります、涙なくして
語り能はぬ各位の御後援
御努力によつて幸ひ當選
の榮を得るならば、この
血と熱を以て縣民共同
の利益のためにあらゆる
問題に邁進する決心であ
る云々

